



KONICA MINOLTA

News Release

コニカミノルタ、「デジタルマニュファクチャリング」の事業推進を加速 幅広いソリューションをハノーバーメッセ2017に出展

2017年4月20日

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山名 昌衛、以下 コニカミノルタ）は、ICT、IoTをベースに、人、場所、国、変動に依存しない新たなものづくりのソリューション「デジタルマニュファクチャリング」の社内実践をグローバルで進めています。

「デジタルマニュファクチャリング」の事業推進の一環として、世界最大の BtoB 産業技術専門展示会であるハノーバーメッセ 2017（4月24日（月）～28日（金）ドイツ/ハノーバー国際見本市会場）に今年も出展し、製造業の課題解決のための新たなソリューションを展示します。

【コニカミノルタが提供する「デジタルマニュファクチャリング」】

コニカミノルタは課題解決型デジタルカンパニーへのトランスフォームを進めています。

今回のハノーバーメッセでは、「Integrated Industry - Creating Value（産業システムの統合化 - 価値の創造）」をテーマに、サプライチェーンを一気通貫で、製造プロセスにおける業務の革新的な効率化と、品質向上の実現をご提案します。

具体的には、新たに提案する、製造現場におけるデータの収集、分析、共有の革新的エッジIoTプラットフォーム「Workplace Hub」と、ヒト・モノのリアルな状態・動きを捉えるコニカミノルタの光学、画像処理などのコア技術を活かしたデバイスとの組み合わせで、製造現場、サプライチェーン全体における品質管理、物流、組み立て、工程管理などの情報の収集・分析・処理を自動化することにより、業務の革新的な効率化と、品質向上を実現するソリューションを中心にご紹介します。

これらのソリューションで現場の真の課題を“見える化”し、製造業におけるモノづくりの課題解決を行い、社会に貢献していきます。



＜出展するソリューション＞

1. データの収集、分析、共有の革新的エッジ IoT プラットフォーム
「Workplace Hub」
2. 品質管理
自動車などの外観検査の自動化や、内外装の色・光沢の高精度な検査を含むカラーマネジメント、非破壊検査の新技术を通して、サプライチェーン全体における品質管理を効率化・高精度化
3. 検査工程自動化とデータマネジメントによる品質一貫管理
入荷から出荷まで、カメラによる車番認証と、RFID による荷物データの紐付けを組み合わせることで、物流全体のモノのトラッキングによる安全性・透明性の確保と人手作業が残る出荷業務のヒューマンエラーの低減を実現
4. アセンブリプロセスの最適化
ロボットと人の協働、ウェアラブルデバイスによる作業支援やデータ収集、分析による製造工程を革新する新たな価値を提供
5. 状態監視・リモートセンシングによる工程最適化
作業者のグループ属性情報や行動データを収集・見える化することで現場の安全性を確保、さらに稼働率を向上させるための最適な配置・工程設計を可能にする状態監視システム

＜技術展示＞

1. 新開発の 3D AR ヘッドアップディスプレイ（安全運転支援）
世界初、車載用 3D 拡張現実ヘッドアップディスプレイ
2. 有機 EL 照明
紙のように薄く、軽く、フレキシブルさに磨きをかけることで、新しい“あかり”をご提供

コニカミノルタブース ホール 8、小間番号 C05



ブースデザインイメージ

【関連リンク】

コニカミノルタ ハノーバーメッセ 2017 ウェブサイト

https://www.konicaminolta.jp/com_message/create/hannover_messe_2017/index.html

お問い合わせ先

<コニカミノルタ株式会社>

報道関係 : 広報グループ 担当 : 高橋・土井 TEL : 03-6250-2100

お客様 : e-mail hannovermesse@konicaminolta.com